パンダスタジオレンタルについて

ジブリ映画をはじめ多くの映画・アニメの音声を製作してきた「東京テレビセンター」と、多くのテレビ番組の撮影スタジオとして、日本の民放スタートとしての歴史を持つ「浜町スタジオ」、インターネット生中継、クロマキー撮影を専門としていたパンダスタジオの3社を統合して生まれたのが株式会社PANDASTUDIO.TVです。株式会社PANDASTUDIO.TVがインターネット、スマホ、AIなどの最新技術を利用しながら、理想のレンタルサービスを追求する形で生まれたのがパンダスタジオレンタルです。

株式会社PANDASTUDIO.TVが、インターネット、スマホ、AIなどのITの最新技術や、ロボット倉庫などの最新ロジスティック技術を利用しながら、理想のレンタルサービスを追求する形で生まれたのがパンダスタジオレンタルです。

パンダスタジオレンタルの10の特徴

1. 来店不要で、すべてオンラインで手続き。
2. レンタル開始前日に到着。前日無料レンタル。
3. **24**時間コンビニで返却可能
4. ライブ配信機材を中心とした極めて専門性の高い専門性と豊富な品揃え。
5. リアルタイム在庫数が表示。在庫カレンダー。セット商品の場合もリアルタイムに在庫が表示されるレンタルカレンダー機能。
6. 見積書・納品書・領収書・請求書などが、すべてオンラインでリアルタイムに取得可能。
7. メール、チャット、フリーダイアルよる手厚いサポート体制。日本語、英語、中国語による**3**カ国語対応のサポート。
8. 企業の請求書払いの審査が即。
9. 機材運搬車（ハイエース、アルファード）の無料レンタカーサービス。
10. **8,000**種類、**65,000**点の豊富な自社在庫。

パンダスタジオが選ばれる20の理由

最安値保証 パンダスタジオレンタルにて扱うレンタル商品を、どのサイトよりも安い価格で提供することをお約束します。	**往復送料無料** 5,500円(税込)以上で往復送料が無料。来店不要で即日発送。家にいながら商品を受け取れます。	**前日無料貸出** ご利用日の前日お届けで、動作検証のためにレンタル料金が無料サービスとなっております。	**3日で34% 7日以上で半額** 3日以上のレンタルの場合、1日料金を、34%OFFになります。また、7日以上のレンタルの場合、1日料金を、50%OFFになります。7日以上であれば、何日借りても、半額が適用されます。	**在庫表示** レンタル在庫はリアルタイムで反映。オンラインで在庫を24時間ご確認いただけます。
パンダケア レンタル料金10%の掛け金で万が一の破損時に安心補償が受けられるサービスです。	**コンビニ返却 翌日に回収可** レンタル商品は24時間コンビニから返却が可能です。返却日の24時までに返却すると追加料金はかかりません。	**最新機材多数** BlackMagic Design 全製品のレンタル他、多種映像機材を60,000点以上取り揃えております。	**機材運搬車無料** 50,000円以上レンタルで機材運搬車を無料レンタル可能(アルファードハイブリッド)。保険料のみ負担。	**スマホで手続** PCが不要で簡単登録。スマートフォン、タブレットだけで会員登録やレンタル手続きが可能です。
来店不要 押印不要で手続きが可能。オンラインだけで簡単に法人登録が可能です。	**24H無人ロッカー 受取** 24時間、店頭受取可能な無人ロッカーで24時間レンタル製品を受け取り可能。	**請求書払い** 法人企業は請求書払いが可能。請求書払い希望の場合もオンラインで申請可能。(審査有り)	**各種支払い** カード払い、AmazonPay、銀行振込(法人のみ)など、多様な支払方法を選択可能。	**運搬バッグ** ダンボールではなく、運搬に便利なカバン(一部オリジナルカバン)で発送。(一部の大型商品は除く)
土日も出荷 自社在庫、自社倉庫で、最速出荷。都内17区11時まで注文で当日配達。	**生中継No1** インターネット生中継、YouTube Live,FacebookLiveの機材在庫No1	**プロアドバイザー** 特殊なプロアドバイザーを派遣いたします。	**多言語サポート** 英語、中国語、韓国語、フランス語などの多言語での対応が可能。	**フリーダイヤル チャット対応** お問い合わせへの素早いサポート。

2023年2月のパンダスタジオレンタルの主な数値

- 取引先・会員数:　45,500社
- レンタルアイテム数:7,940種類 65,240 点
- 出荷数:605,184アイテム(2019年5月～2023年2月末日現在)

パンダスタジオが実現予定の10のこと

1. 自動倉庫、ロボットによる自動出荷。パンダスタジオのレンタルシステム(PS−CUBE）と連動した自動倉庫システムによる迅速で高効率な在庫管理や出荷。
2. 自動倉庫、レンタルシステム（PS-CUBE)、オンラインサポートシステムを、プラットフォームとして提供する。企業や個人が所有する機材をレンタルできるようにする「誰でもレンタル」サービスの実現。貸し貸倉庫事業にレンタルサービスが付いたもの。預かったものはレンタルだけではなく、ヤフオクやメルカリなどで売却もでき、預かった倉庫から売り先への配送も可能。マイページからレンタルや販売も簡単に可能。
3. **23**時締め切りで翌日午前中に**23**区内配達。23にこだわった「パンダスタジオレンタル 23エキスプレスサービス」
4. レンタル最終日の翌日に、返却のものを受取（回収）にいくサービスの開始。レンタル物品の返却の手間を大きく軽減。利用場所まで集荷され簡単に返却できる「翌日簡単返却サービス」「レンタル回収サービス」。
5. レンタルで利用した料金が無駄にならず、購入代金からレンタル料金が自動で割り引かれる「レンタル割サービス」
6. 現在は独自ドメインのサービスで展開しているが、Amazon、楽天、Yahoo!ショッピング、ヤフオクなどでも注文できる「マルチテナント化」。
7. レンタル開始時に会員登録を極限まで手間無しに。身分証明書の登録を不要に。与信方法にAIを活用し、個人の身分証明書手続きの省略を可能に。
8. 企業の請求書払いの審査を自動化。与信枠の自動審査。
9. レンタル商品の取り扱い範囲の拡大。介護用品、福祉用品のレンタル開始。スタジオレンタル、スタッフ派遣、大型LEDのレンタルなど、従来オンラインでレンタル注文が難しいとされるものもオンラインレンタルを可能にする。レンタルや販売でのオリジナル商品の点数を増やす。
10. 画像診断や**AI**を活用した商品の検品の自動化、効率化の実現。

パンダスタジオ木場について

- 5年間で、駒込→日本橋浜町→合羽橋→江東区木場（千石）→南砂と5箇所の倉庫の内の4つめの倉庫になります。
- 毎回4倍以上の広さに引っ越しを繰り替えし、その度に、保存方法、出荷方法、検品方法、PS-CUBE（統合管理システム）を整備してきました。
- 管理システムと宅配業者がつながっており、Google Mapと連動して荷物の現在地が追跡可能。
- パンダスタジオ木場とよんでいるこの倉庫は、もともとは日刊スポーツ新聞の印刷工場で、入口のシャッター3つは、トラックで積み出していた場所。エレベータの両脇の黄色いポールは、フォークリフトの衝突防止用。

パンダスタジオレンタルの基本的な保管の方法について

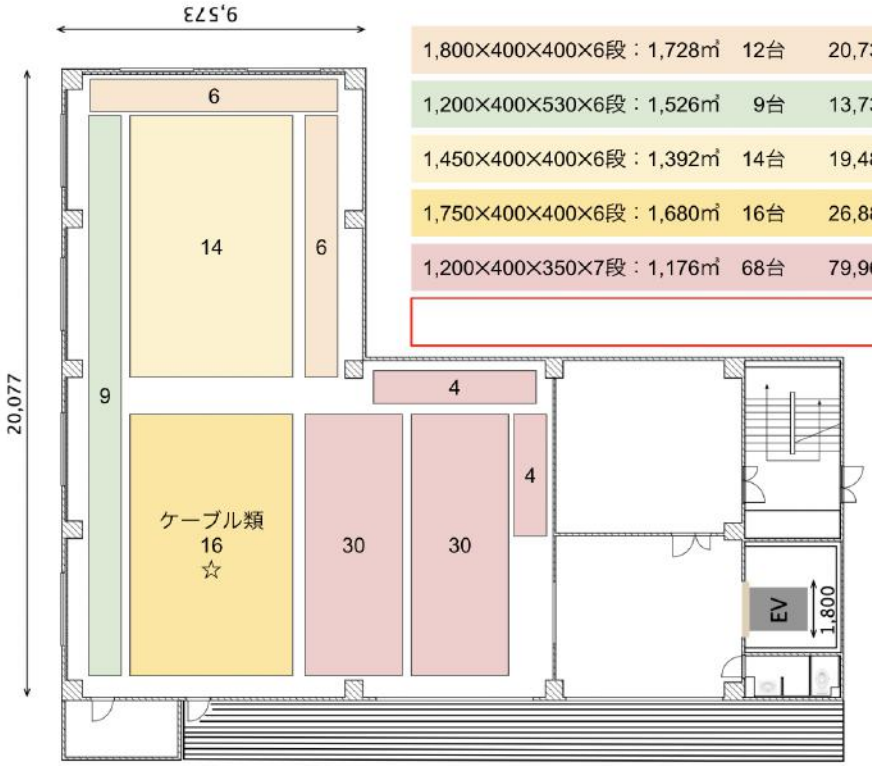
- フロアーにより役割が分かれています。1Fで外部からの荷物を受け取ると、かならず3Fにあがり、手順に従い2F→1Fと順にフロアーをさがって出荷されるフローになっています。

- 新品は、いったん3Fの倉庫スペースに上げられ、そこで登録作業をします。すべての商品をいきなりレンタルに回すのではなく、一部は新品在庫として取り置かれ、レンタル商品が人気で在庫不足になると、新品販売→レンタルに回ります。

- PS-CUBEで十分回収が終わったもの、レンタルに向かないと判断されたものは、現状の写真を撮影して、中古として販売されます。

【フロアマップ】各フロアのエレクター数、概要が確認できます。

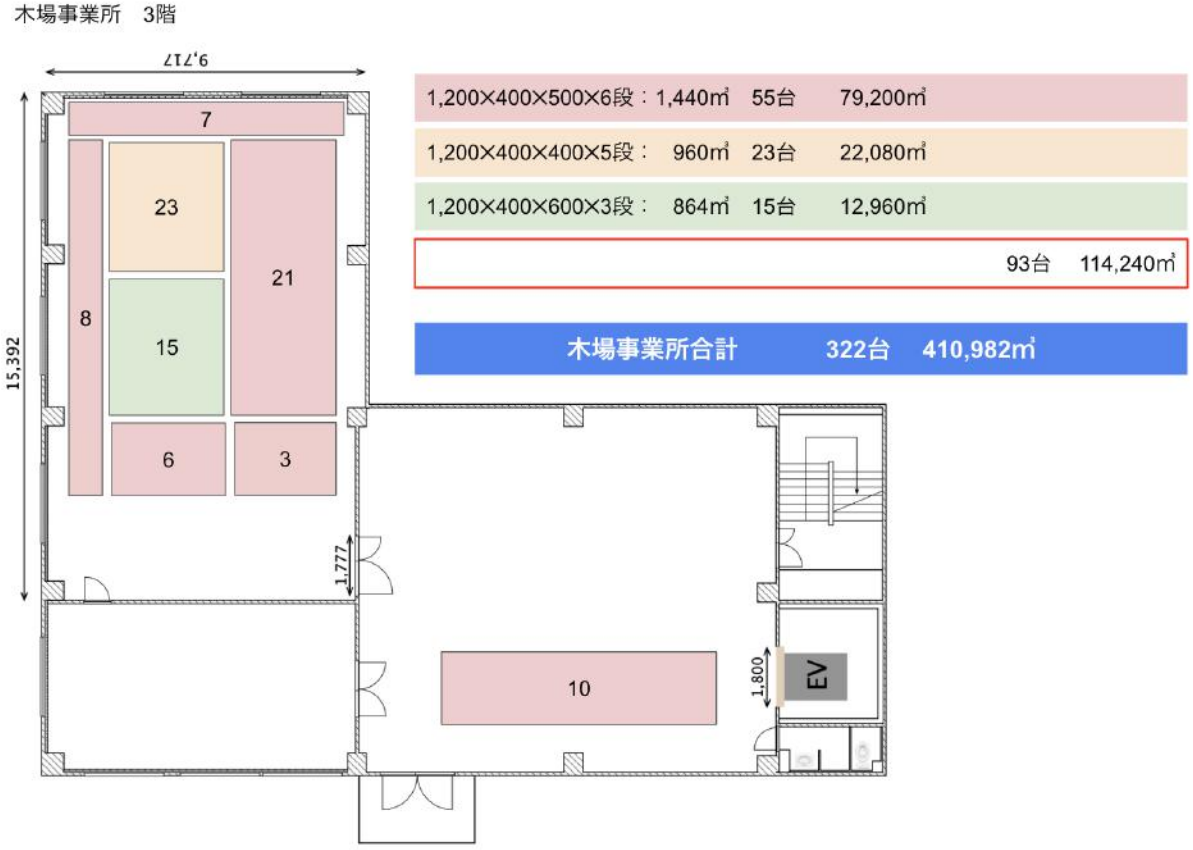
木場事業所　1階



1,800×400×400×6段：1,728㎡	12台	20,736㎡	
1,200×400×530×6段：1,526㎡	9台	13,734㎡	
1,450×400×400×6段：1,392㎡	14台	19,488㎡	
1,750×400×400×6段：1,680㎡	16台	26,880㎡	☆
1,200×400×350×7段：1,176㎡	68台	79,968㎡	
	119台	160,806㎡	

木場事業所　2階

1,800×400×350×7段：1,764㎡	8台	14,112㎡
1,200×400×400×6段：1,152㎡	72台	82,944㎡
1,200×400×300×9段：1,296㎡	30台	38,880㎡
	110台	135,936㎡



パンダスタジオレンタルの管理方法の特徴

棚番号、商品ID、注文番号、顧客ID すべてを数字で管理

- 東京オリンピックで約400カ国への出荷対応。スタッフの多くの80%が外国人。そのため、管理が必要なものは、すべて数字で管理ができるようになっています。
- 従業員にiPadを持たせ、管理システムと連動してその場で入力できるようにしています。
- QRコードは、PS-CUBEで自動生成していますが、シールそのものは、ブラザー製のPタッチにより2種類のラベルが印刷できます。
- ブラザーのPタッチは、工業規格で、薬品や擦れがあっても文字が消えないものがあります。

▲スタッフへのメッセージも多言語対応（日本語、ネパール語、中国語、英語）

▲ケーブルを含む全ての機材はラベルプリンターにて、シールが貼られます。

レンタル商品は、すべてQRコードと、商品ID（5桁の数字）で管理されています。それ以外に、保管場所の「本籍地」が記載されています。

パンダスタジオ木場（倉庫の以前はドラマ撮影用のスタジオ）

『ドクターX ～外科医・大門未知子～』- テレビ朝日より

パンダスタジオ・レンタルのレンタカー

- レンタル機材代金よりも、レンタカー代金が高いという声を受けてレンタカー事業を開始。鍵を渡す方法（暗証番号で開けられるキーロッカー）
- 車ごとレンタル開始、車ごとレンタル終了。窓口での受取や車に積み込む作業も不要。
- お客様の車を置いてレンタカーで現場へ。駐車料金も不要。
- 車のレンタル料金ではなく、撮影機材にお金をかけてほしい。
- 用途にあわせて、乗り心地重視の「アルファード」、機材搭載容量重視の「ハイエース」を選択可能。
- 一部のハイエースは福祉車両を転用。リフトを利用した荷物の積み下ろしが可能。

▲レンタカーの鍵はこちらで管理されています。

レンタル機材は、車に積んだ状態で、鍵だけをお渡しします。返却はポストに鍵を入れておくだけで良い便利な設計になっています。

レンタル機材の機材社に福祉車両を活用

・税制面で優遇
・中古の福祉車両は、安価に大量に購入できる。
・後部がパワーゲート。400kgまでの荷物を簡単に積み込みが可能。
・ラックにつんだBリーグ中継セットで全国中継したことがスタート。

【福祉車両中継車の写真】

パンダスタジオ木場の1Fについて

パンダスタジオ木場1F:ケーブルや重量物の保管庫

大型荷物を中心に保管しています。

- 「エレクター＝移動手段」のエレクターのまま保管。

- エレクターのまま、大型案件の出荷。大型サランラップの状態。

- 単管パイプで工事の足場を組むことを応用→大型荷物の保管→地震の心配がない。

- くさび足場により棚全体が一体に。組み替えが早い。

- プラダン箱をつくるための簡単な工房スペースあり。

パンダスタジオ木場の店頭受取場所の紹介

少しでも早く機材を受け取りたいお客様にも対応し、直接の店頭受け取りも可能に。
フリードリンクあり。待機時間もお客様がリラックスできる環境も整備しています。

パンダスタジオ・レンタルの保管方法

- エレクターを基準棚にする、
- 収納機能と、台車としての機能を両立。
- フロアー間の移動もエレクターごとに行う。
- 45cm×120cmのエレクターを基準棚に。

- エレクターを作業台に

- 一番したの段が空いているのは、ロボット掃除機が床を掃除する為。

- 棚の情報
  https://item.rakuten.co.jp/luminous-club/shl1245sl2/?s-id=ph_pc_itemname

■単管パイプ（足場）を利用したケーブル棚

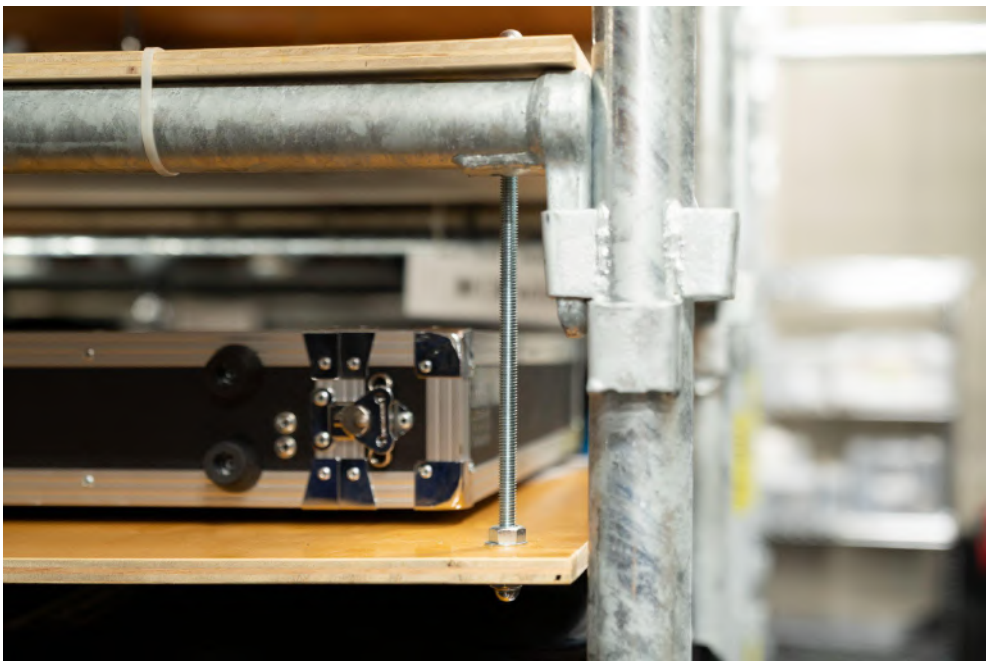
- 安価で丈夫な素材
- 組み替えが容易
- 全国どこでも手に入る。
- 地震の心配がない。
- 脚立なしで高い場所のものが取り出せる。

■くさび足場の利用

- 組立が簡単。
- 直交クランプが必要なく、工具は金槌のみで組立が可能。

- 規格がきまっていて自分達で切る必要がない。
- コンクリートパネルを利用することで、材料が安価で、塗装が不要。

- 3／8インチの全ネジを利用する。全ネジカッターで簡単に最適な長さに切れる。



- 棚の高さをナットで自由にmm（ミリ）単位で設置ができる。
- 棚板は、固定のためにインシュロックを利用

■専用ケースのこだわり

出荷と保管を分けない。
専用ケースを陳列。基準看板、×2カバン。×3カバン。1／2カバン。1／2カメラカバン。×3 +収穫箱。プラダンケースの自作。ウォータープルーフカバン。約3万個のオリジナルカバン。出荷カバン＝保管カバンへの概念の進化。
さらにメーカーからオリジナルバッグの製作を依頼され、OEM / ODM対応も行っている。

▲パンダスタジオレンタル基準カバン

▲基準カバンに、1／2カバンが2つはいった状態。

1／2ケース　ケーブルやコンバータを入れて送るもの。

1／2カメラバック　カメラの運搬などにつかうカバンです。

▲3倍カバン（基準カバンが3個はいります。）

▲3倍カバンは中に収穫カゴを入れると重量物が運べます。ケーブルなど重いものをいれたときに、カバンが破れてしまうことを防ぎます。

収穫箱は重量物を運搬したり、中継チームの荷物運搬時に「標準化」された収納箱として利用されています。

▲2倍カバン（基準カバンが2個入ります。）

パンダスタジオオリジナルカバンのデータ：
https://docs.google.com/spreadsheets/d/1f25JFx-4iFVkh6c0EBOsf00rQLzYjgd6N5iSBQEvCaY/edit#gid=185741850

▲収穫箱は複数積み重ねるだけではなく、ホームセンターでうっている台車（四角い枠の下に車輪のついたもの）に積み上げ、簡単に運搬できます。（積み上げた実際の写真、商品名、URLなどを追加予定）
上記写真は、サンプルです。
https://www.amazon.co.jp/CPU%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%83%B3%E3%83%89-%E3%83%87%E3%82%B9%E3%82%AF%E3%83%88%E3%83%83%E3%83%97%E7%94%A8-CPU%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%83%BC-%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%83%BC%E4%BB%98%E3%81%8D%E5%8F%B0%E8%BB%8A-Deear/dp/B09H498SMB

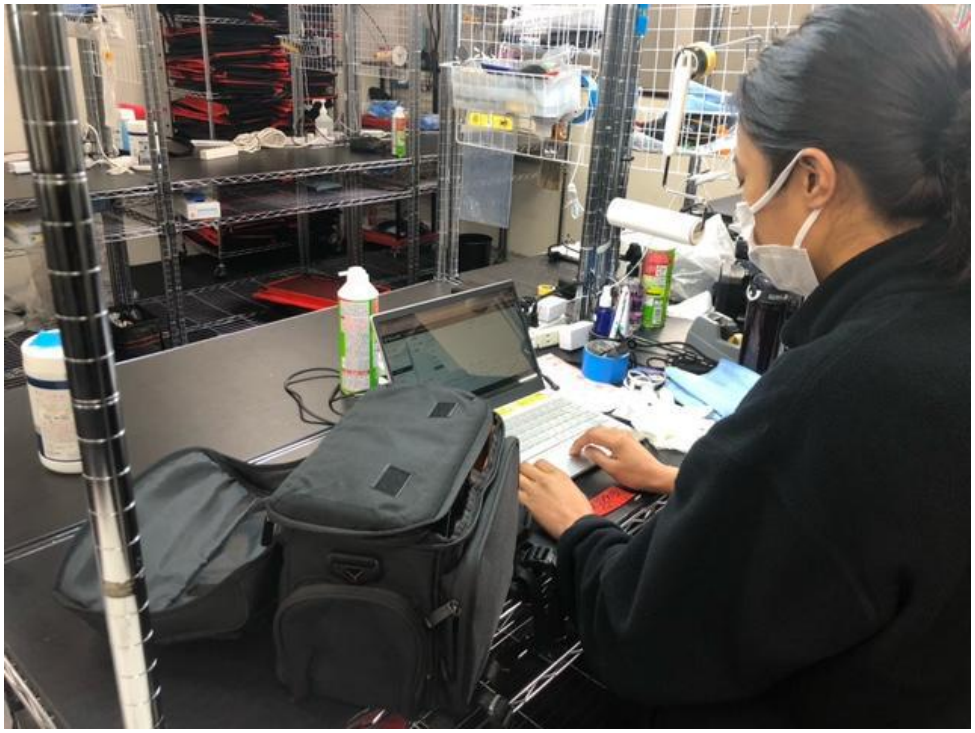
▲モバイルルーターなどの小型の機材の輸送で使用されるケースになります。
▲一番右の大きなケースはクリックポストに入るギリギリのサイズで、モバイルルーターを2個を配送可能です。
＊クリックポスト（https://clickpost.jp/）

3Fについて

■全品検査場

新人さんは、全品検査から。全品検査は、すべて写真がとってあるので、その写真を中心にチェック。

【全品検査ブースの写真】



■写真撮影ブース

付属品の写真を全品撮る。エレクターを利用した写真撮影ブース。写真撮影後の処理は、全てクラウドの「ZENPhotoMagic」を利用
https://www.zenfotomatic.jp/

【写真撮影ブース】

エレクターを2台繋げた撮影ブース

QA-TAP

PANDA STUDIO

■商品登録作業

- すべての商品は、PS-CUBEに登録。
- レンタル開始日を指定でレンタル開始。
- Youtubeの動画、記事の掲載。
- PhotoShopは一切使わず、Googleスライドショーで管理。
- 変更や素材の管理が一元化できて便利。

■監視カメラエリア

- 24台の監視カメラによる監視

■新品在庫

- 販売とレンタルのハイブリッド
- レンタルだけでは、取引してもらえないこともあり、販売があることでメーカーから仕入れができるようになる。
- レンタルは、物販のよい販売促進になるが、メーカーからは物が売れなくなるのではないかと警戒されることも多い。

2Fについて

■動作確認作業スペース

- エレクターを利用した検品デスク
- もともとは全員同じであったが各自作業効率を考えながらレイアウトを工夫しているので、個性がでてきている。

【作業スペースの写真】

■棚番号で管理

- 棚にもすべて番号がふってあって、将来の自動倉庫の番地として利用できるように設計されています。
- 同一商品を近くに置き、カテゴリーごとに、大きくは分かれていますが、基本的に場所による意味づけは一切していません。

■収納棚

- 高さがどんどん高くなりペンダントライトより高くなっています。
- 一番下がロボット用のスペースとして、上がっています。

■コンバータ棚

- 同じエレクターでも、このコンバーター棚だけ15cmの棚板の奥行き

- 221種類（3414台）のコンバーター（2023/01/13）を保管。
- あらゆる信号を取り扱えるように。

■バッテリーの充電

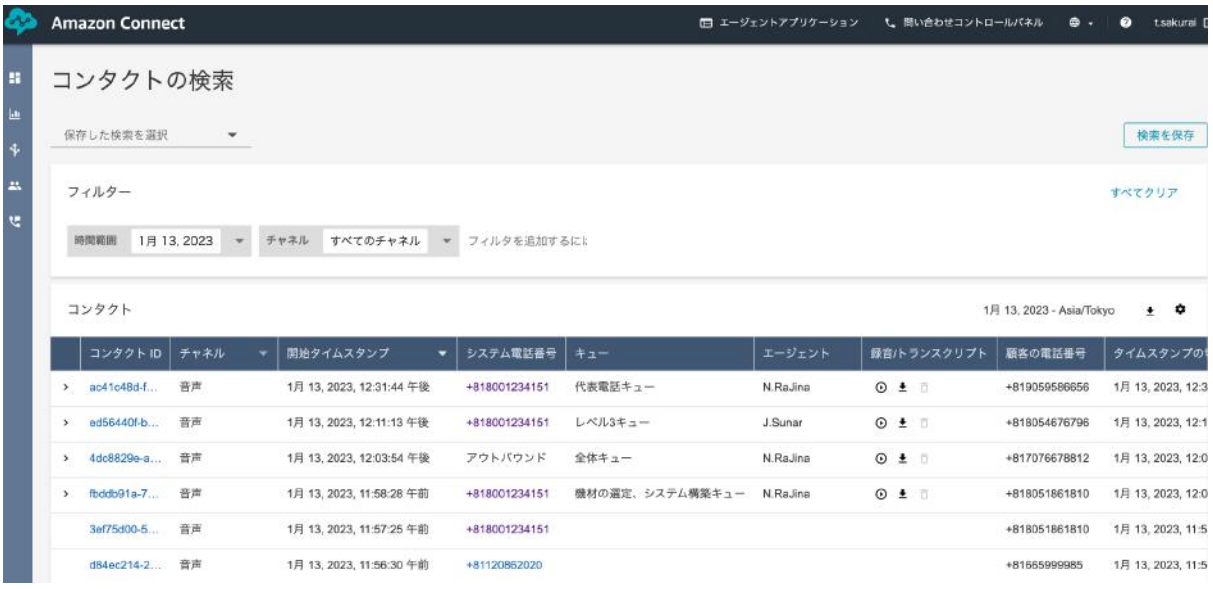
- 充電済みかどうか簡単に管理する方法（接点に充電日のシール）

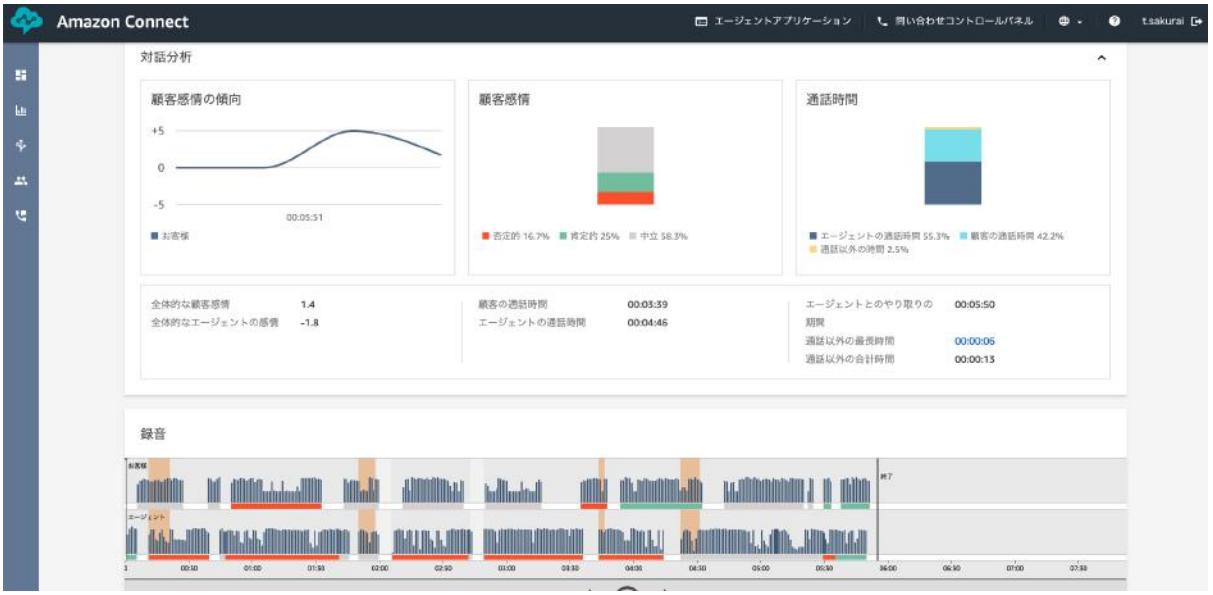
4Fについて

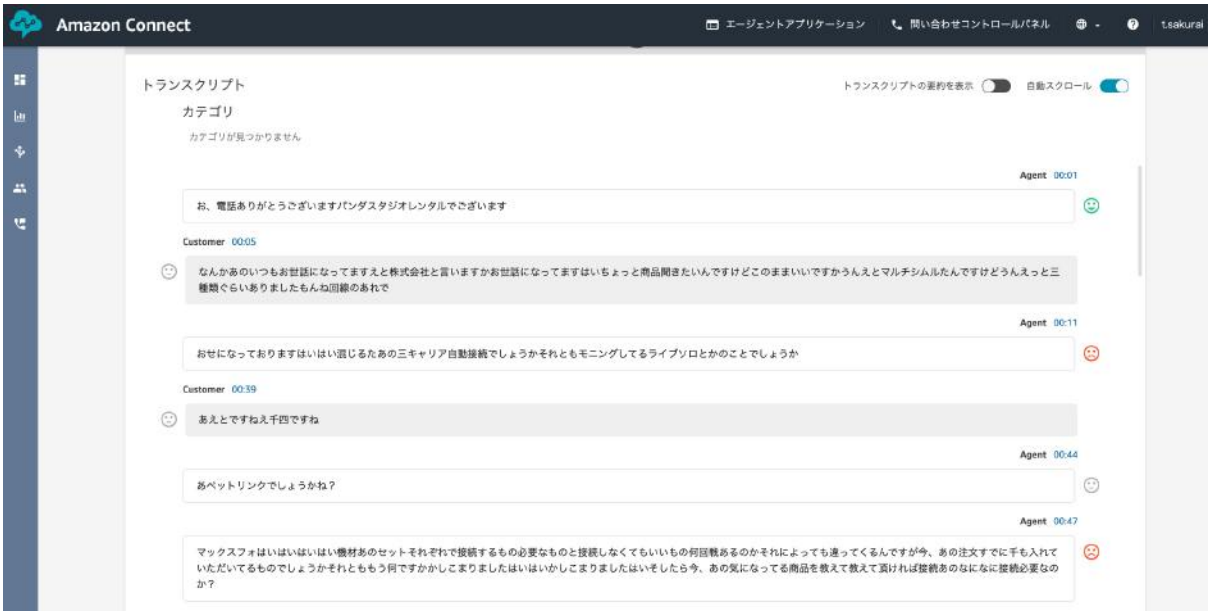
カスタマーセンター／コールセンター

- 自社のコールセンターシステムを構築
    - レンタルのPS-CUBEに完全に統合
    - コールセンターのシステムも自前開発です。
    - ユニファイドメッセージ（CRM的な機能）
      フォームのお問合せ、電話のお問合せ、チャットのお問合せ、FAQなどがすべて、1つのシステムに統合されている。
- 電話そのものはAmazonConnectをベースに開発。
- AIによる満足度分析をおこなっている。時系列に満足度の増減が確認できる分析システムを導入。
- 電話がかかってくると、注文者の情報が、Slack に過去のお問合せ履歴の閲覧ができるURLが通知され、電話にでるまえにお問合せ状況の情報共有。
- 日本語、英語、中国語によるサポート。
- 土日の人材確保、コールセンタースタッフの費用が高騰のため、中国の大連市にコールセンターを構築。
- 担当者がちがっても、情報が共有される仕組みに
  すべての通話は録音→テキスト起こし→AIによる満足度判定→顧客履歴に自動追加されます。。
- 時間とともに進化
  コール業務は、時間が経過するほど、問題解決、サポートのノウハウが蓄積されていく仕組み。
- インシデントの管理
    - 極端に長い通話を調査。
    - 時間の経過とともに満足度が下がった通話の分析
    - コールセンタースタッフごとの通話件数、通話時間、満足度のランキング
- お問合せ（フォームメール）からのお問合せの返信管理→FAQまで連動したシステム

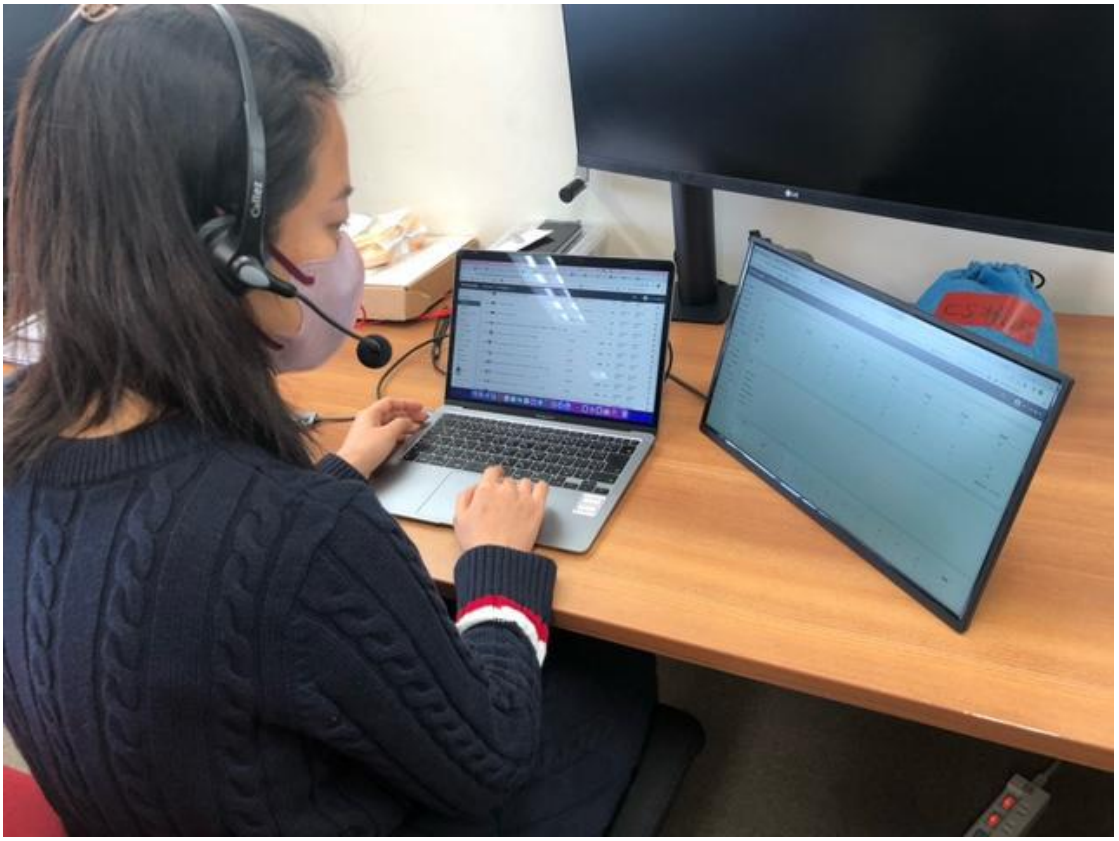
【コールセンターのシステム】



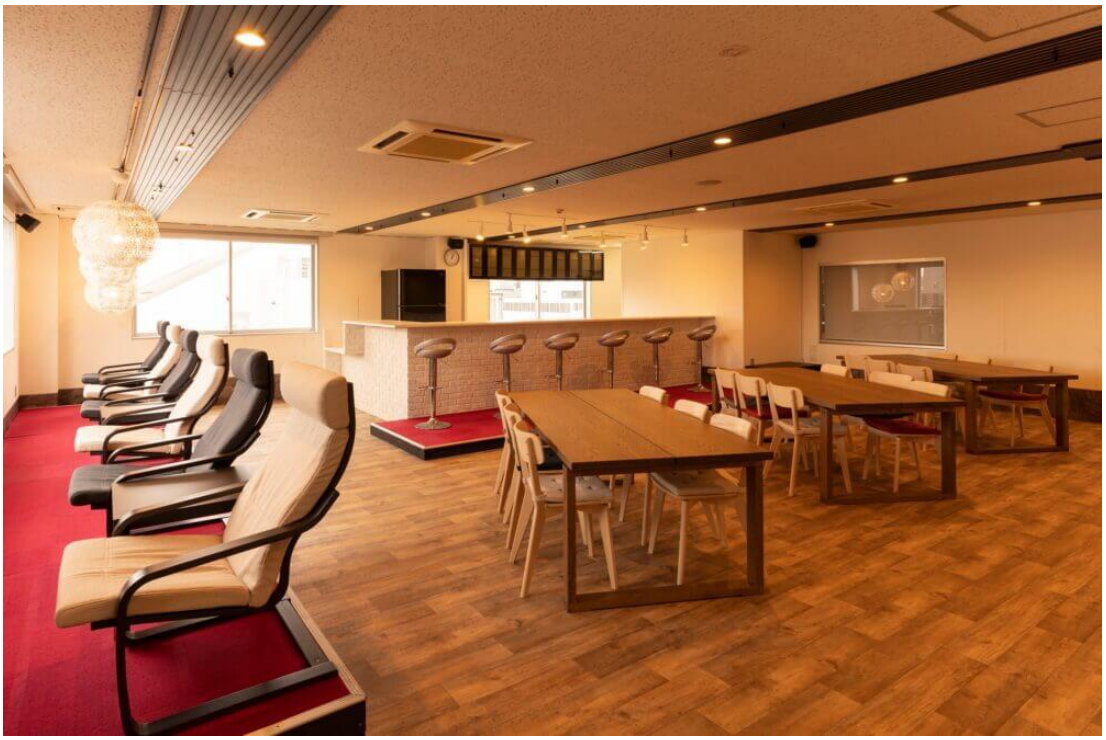




【コールセンターのメンバー】



■ラウンジとウッドデッキ

- 一番よい場所をスタッフの休憩場所に
- ランチ時間以外は、お客様へのレクチャー場所に

【ラウンジ＆ウッドデッキの写真】